

平成19年12月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第2委員会
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成19年12月25日審議を行った。

新規自主研究「HIV感染症に対する一日一回併用療法として、アタザナビル/リトナビルを固定しエプジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設共同臨床試験実施計画書 (ET Study)」、「CVRT: CPA-Vasopressin Resuscitation Trial」、「消化管間質腫瘍 (GIST) 患者を対象としたイマチニブによる術後補助療法の1年間投与と6ヵ月間投与のランダム化第II相試験」、「切除不能進行・再発胃癌症例における、TS-1+CDDP+PTX 併用化学療法の第I相臨床試験」、「腫瘍マーカーNCC-ST-439の組織発現有無と術後血中測定値との相関」、「日本人を対象とした早期乳癌における予後因子としてのONCOTYPE DXの「再発スコア」に関する研究」については修正の上承認とした。

「悪性グリオーマの癌幹細胞を抗原とした樹状細胞療法開発のための基礎研究」については、説明文書の大幅な修正が必要なため、却下とした。

実施計画書記載内容等変更報告12課題については変更を承認した。

継続自主研究14課題については、特に問題なく継続実施を承認した。